

micro:bit ボール運び

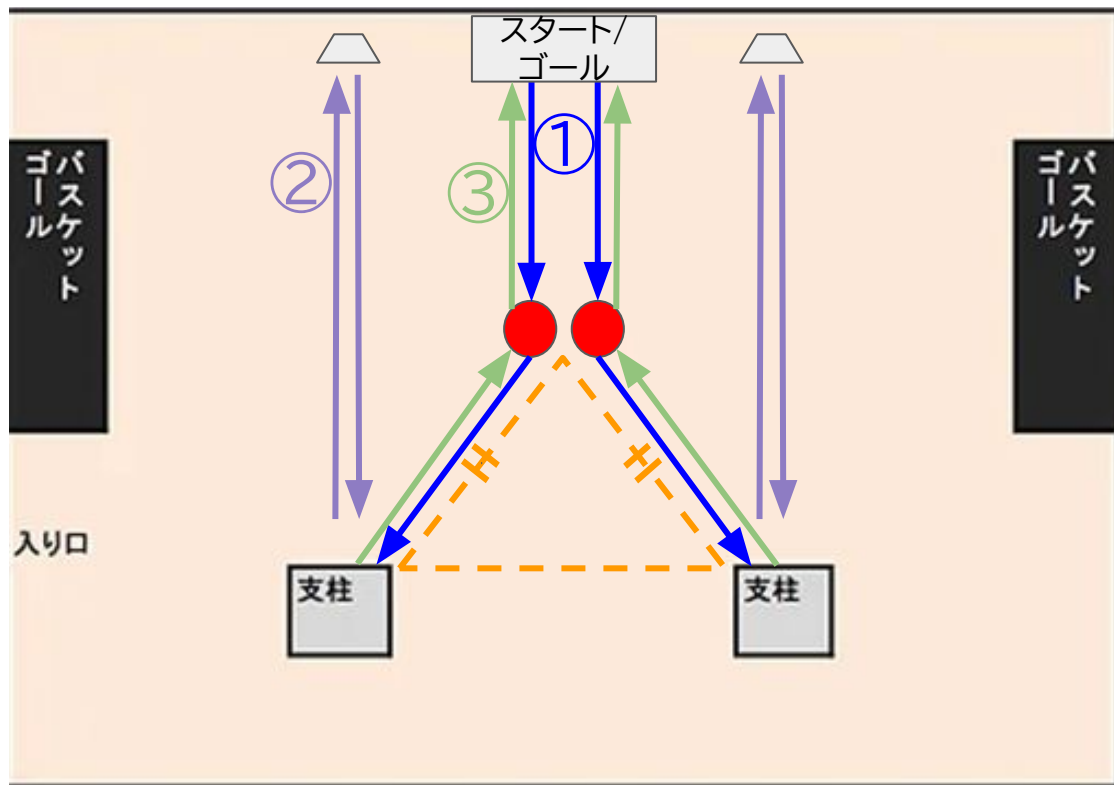
担当者: あんず、やつお

競技概要

- 2チーム同時に実施。
- 支柱から離れている側の壁際中央からスタートし、
①→②→③の順に辿ってスタート地点に戻ってくるタイムを競う。
※次ページの図を参照
- 運営メンバーがストップウォッチ担当者としてタイムを計測する。
- micro:bitの揺さぶりカウントの分だけタイムに1秒加算される。
- micro:bitは揺さぶられると音が鳴る仕様。

コース図

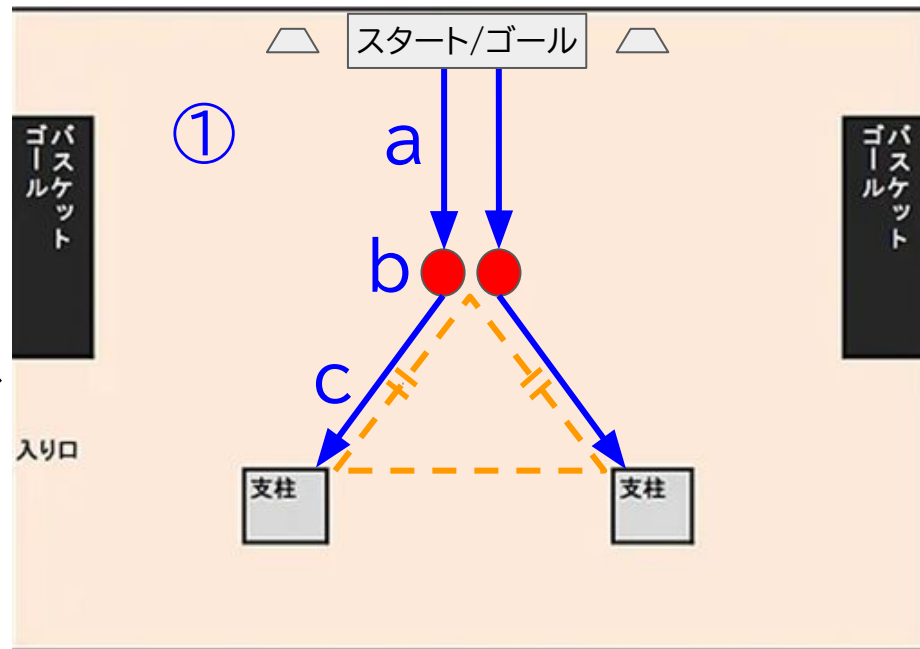
- 支柱から離れている側の壁際中央からスタートし、①→②→③の順に辿ってスタート地点に戻ってくるまでのタイムを競う。
- ①②③についての詳細は次ページから記載。



①ボールを組み立てる(流れ)

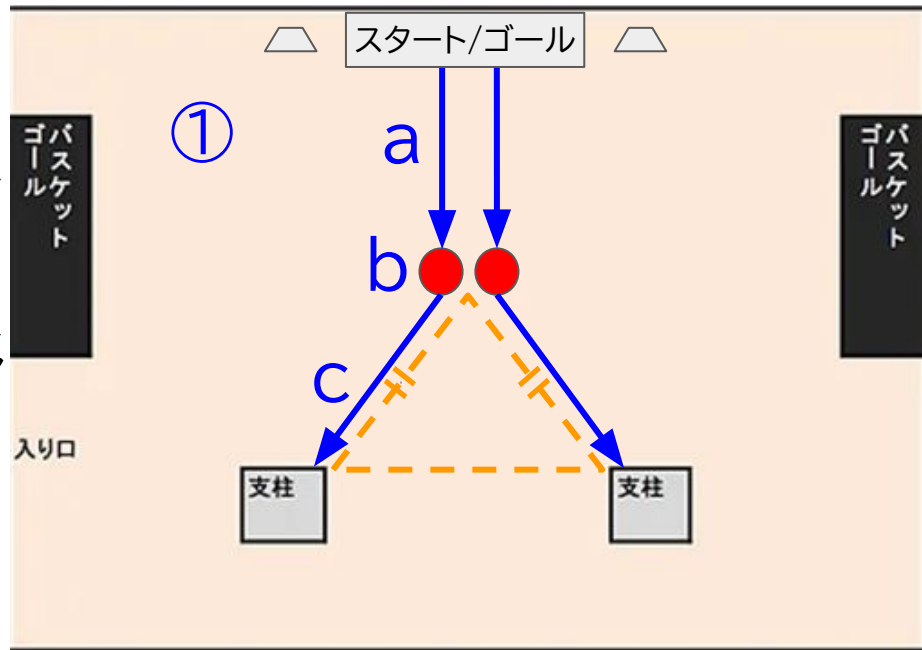
第一走者は以下を実施する。

- a. スタート地点から右図中央の「●」まで走る。
- b. 「●」でボールを組み立てる。
- c. ボールを持って支柱まで走り、支柱にタッチする。





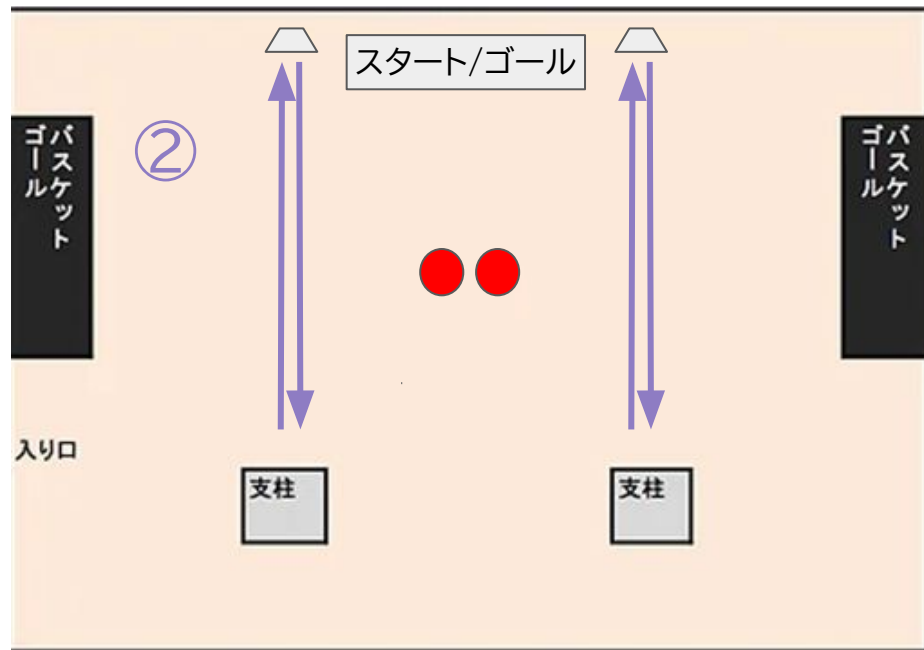
①ボールを組み立てる(ルール)

- ボールの組み立て時は必ず3か所以上テープを貼る。
※組み立て手順は最終ページを参照
- 組み立て終わる前に「●」から移動するのはNG。



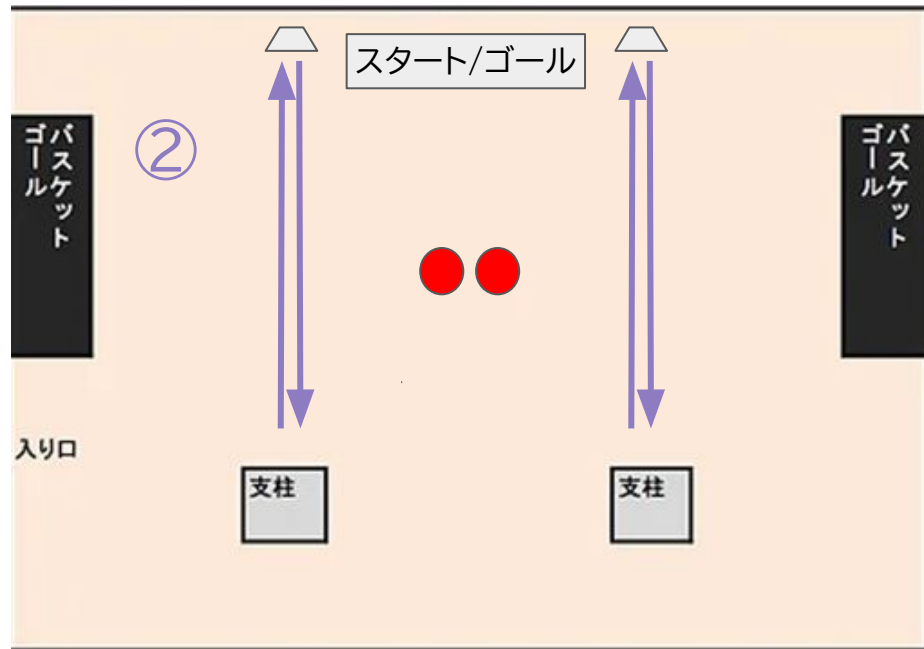
②ボールを揺らさないように運ぶ(流れ)

- チーム全員でバケツリレー方式でボールを運ぶ。
※経路: 支柱→「」→支柱
- 「」にはマーカーが置いてあるので、マーカーにタッチしてから戻ってくる。



②ボールを揺らさないように運ぶ(ルール)

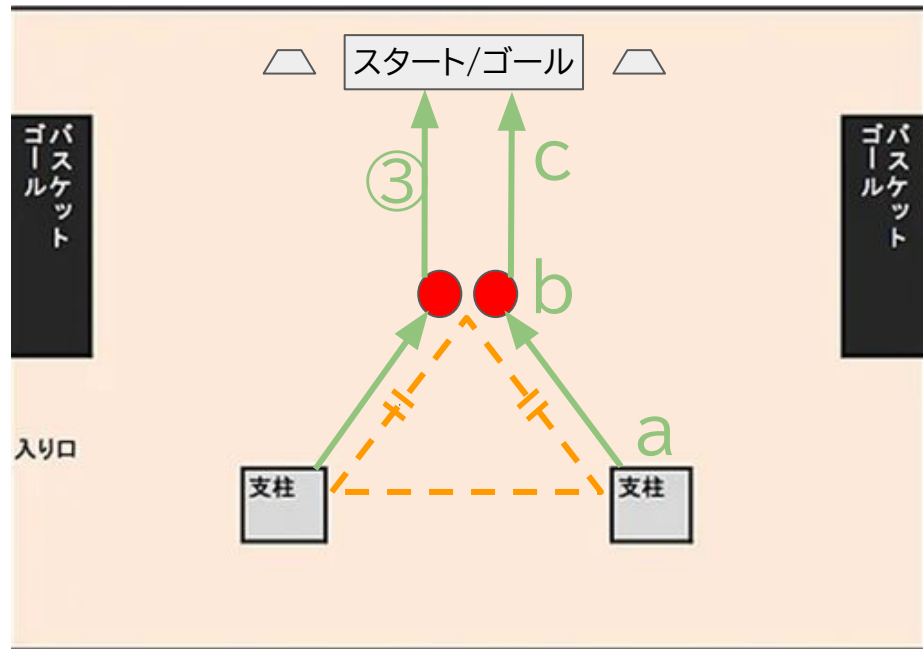
- ボールが分解してしまったら、その場で組み立て直す。
※組み立て手順は最終ページを参照
- 手が届く範囲ならばバケツリレーの立ち位置の間隔は自由。
- ボールを持って歩くのはNG。
※バスケットボールのトラベリングと同じルール



③ボールを解体する(流れ)

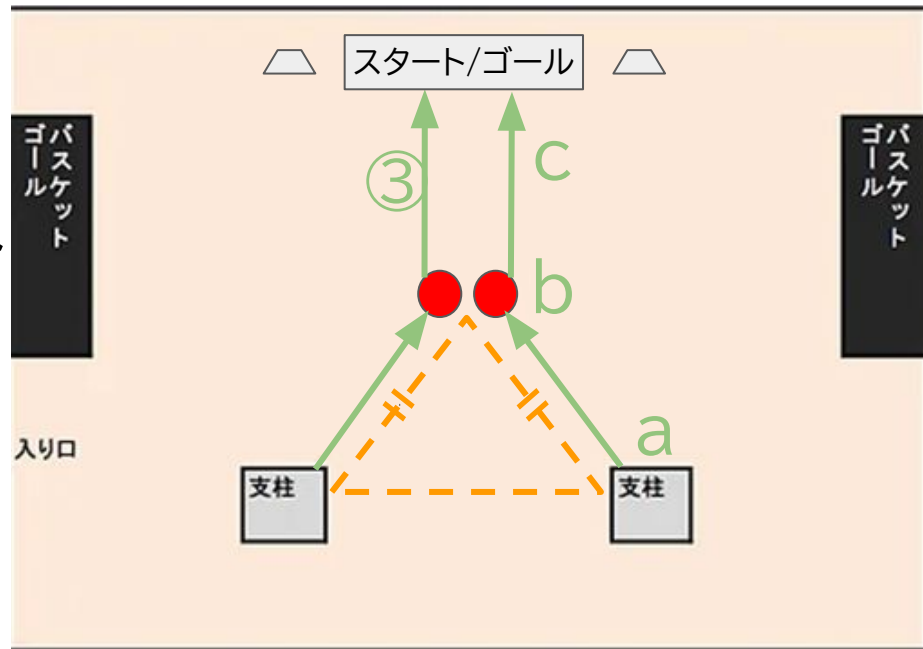
②で支柱にタッチした人は以下を実施する。

- 「●」までボールを持って行く。
 - micro:bitをボールから出し、画面を上にして置く。
 - ゴール地点まで走り、ストップウォッチ担当者の手にタッチする。
- ※担当者はタッチを合図にタイムの計測を止める。



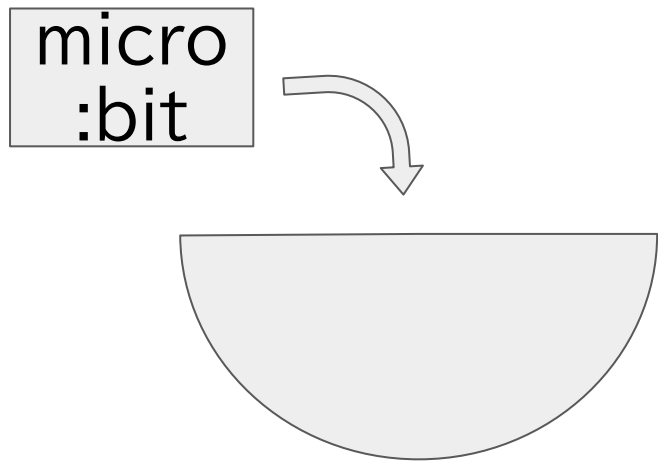
③ボールを解体する(ルール)

- 「●」に着く前にボールを分解するのはNG。
- 「●」に着く前にボールが分解してしまったら、その場で組み立て直す。
※組み立て手順は最終ページを参照



ボール組み立て手順

①micro:bitを容器に入れる。



②容器2つを合わせ、
3か所以上にテープを貼って
ボールにする。

